

これからの小野ゼミ生たちへ

第4期ゼミ長 大隅 隆広

OB・OGの皆様、そして現役生の皆様、こんにちは。大隅隆広と申します。大学を卒業してからの4年、都内の広告会社にて働いています。

個人的なニュースですが、つい半年ほど前、社会人生活初の異動を経験しました。これまで入社以来、とあるクライアント専属営業一筋で3年半やってきましたが、異動を機に現在では、全営業部門を取りまとめる統括部門にて全社的な営業戦略を考える業務に携わっております。広告業界全体が収益構造の見直しを迫られる中、例にもれず当社も、これまでの広告ビジネス概念の枠を超えた収益源を作っていこうとしています。山積する難題に右往左往すると同時に、やりがいも感じられる、そんな部門です。



現役時代の著者 (Part 1)



OB・OG 総会 2009 でスピーチを行う著者

異動をして自分自身の意識が変わりました。それは“視線”です。営業時代は、クライアントの方をじっと見て、いかに彼らの生業に貢献できるかに全神経を集中しておりました。私個人の営業成績(=自社への貢献)に直結しない仕事でも、クライアントにとってメリットがあればかまわずやる、そんな感じでした。しかし統括部門では、常に自社の利益を念頭に置きながら、社内の営業陣の動きを粒さに把握して情報収集をする一方で、経営層の意向にも目を向けて対話をするといったことが求められています。半年経ってようやく、現場感と経営感のバランスをとる感覚が分かり始めたような気がします。本当に、気がする、だけです。

今回のOB・OG総会が開催されるにあたり、私は幹事を務めさせていただきました。この準備にあたっては、今の私の業務感覚をだぶらせる場面がたくさんありました。現役生の皆様にアイデア出しや資料のとりまとめを行ってもらいつつ、先輩OB・OGの方々から会の方針に対する教えを請う、というまさしく現場感と経営感のバランスに似

たものがあつたなと実感しています。そして、そんな中で感銘を受けたことがありましたので、僭越ながらそれを小野ゼミの皆様へのメッセージとして本文を締めくくってまいりたいと思います。

OB・OG 総会の準備に向けて何度もゼミ会長である白木さんや昨年の幹事である横山さんとお話させていただく機会があり、お二方が小野ゼミの“これから”の姿を模索していらっしゃることに感銘を受けました。これからのさらなる発展に向けては、人数が増えて規模も拡大し、学部内でのプレゼンスも強くなってきた今が大事な期間であると位置づけ、より良い組織作りを目指していらっしゃる姿勢には頭が下が



現役時代の著者 (Part 2)

ります。語弊があるといけません、小野先生を社長？とするなら、白木さんは経営企画長？そしてOB・OG、現役生の皆様がネットワークして一丸となってゼミを運営しているような構図でしょうか。もちろん、誰が上で誰が偉い、などということではなく、皆で組織を作っていく、勢いのある優良ベンチャー企業が真の成長企業へと変貌していくような流れが出来上がればいいのではないかなと思います。

現役生の皆様には、近視眼的になり日々に忙殺されるのではなく、より高く広い視野で小野ゼミに従事されることを願っております(かくいう私の現役時代は全くそんなことはできておりませんでしたので、これはアドバイスというより自戒の念でございます)。がんばってください。また、思い悩んだときは、もちろんOB・OGも全力で

サポートしますので些細なことでも遠慮せずに声をかけてください。

最後に、拙いこの文章を最後まで読んでくださったことにお礼申し上げます。支離滅裂で着地できていない文章ゆえ、不明な点などは直接お問い合わせいただけると幸いです。小野ゼミと、そして皆様自身の更なる発展と成長を心より願っています。



現役時代のソフトボール大会 (著者は左奥)